

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表
事業所名 ゆめなーるぷち小池教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。 また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮が適切になされているか	○		生活習慣などはイラストで示し、見える化している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		支援開始前、支援終了後は室内・玩具などの清掃・消毒を隅々まで行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎朝のミーティングにおいて、前日の振り返りを行い、改善し、実践している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在実施なし
適切な支援の提供	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修への参加、事業所内でのWEB研修を行っている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		6か月に一度、モニタリングを実施し、必要に応じて再設定している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が盛り込まれているか	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		利用児一人ひとりの支援計画書に沿った支援を常に心がけて取り組んでいる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		過去の活動と全く同じ活動にならないよう、様々な案を出し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		曜日ごとの利用児が異なる為、2・3か月を通して集団療育（音楽、運動、制作）が曜日固定されないよう万遍なく組み込んでいる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		年齢、特性により支援内容を変更、実施している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		送迎時に保護者の方から得た情報や、車中の利用児の様子などを共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎朝のミーティングで、利用児の前日の様子、実施した対応、反応など意見を出し合い記録に残している。
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者の方、スタッフから聞き取りをし、達成・未達成・継続を判断している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管が参加し、情報共有している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		利用園の先生方から利用児の様子などを情報共有している。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	現在、医療的ケア児を受け入れていない。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケア児を受け入れていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		特に年長児を中心に、担当者会において日々の支援内容、課題などを情報共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳への記入や、送迎時に保護者の方と支援内容、様子、課題などをお伝えしている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		ベタほめシールを活用し、保護者が子を褒める習慣作りを行っている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時には必ず説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画への同意を得ているか	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っているか	○		送迎時や、面談時に必要に応じて行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者参観実施において、保護者同士の関わりの場を提供している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れがあった場合は、スタッフ全員で共有しすぐにミーティングを行い対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		活動の様子は、毎日ブログで発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報は鍵付き書庫で厳重に管理している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		作成した各マニュアルは教室内の目が届く場所に掲示している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に二回の避難訓練を行っている。また訓練の様子は送迎時に保護者の方へお伝えしたり、ブログでも発信している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		服薬状況などは、都度保護者の方へ確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者の方へのヒヤリングを行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ひと月のヒヤリハット事案は発生しているものの、ミーティングでの報告後、書面に残す事が怠りつつある。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		Web研修において全員が参加している。毎月虐待防止チェックリストを使って再確認している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記録しているか	○		契約時、保護者様からの聞き取りを踏まえ、必要であれば同意書をいただいている。

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。